

① 薬局紹介・目的



株式会社クリオネ

全16店舗 北海道 (札幌市内、近郊・千歳・函館・室蘭・釧路)



薬剤師人数 73名

応需診療科目数別内訳

薬剤師経験年数別内訳

～5年 12名

～15年 38名

～25年 17名

26年以上 6名

～3診療科 6店舗

～5診療科 2店舗

～6診療科以上 8店舗

*メインで応需している医療機関の診療科目

薬歴

16店舗中14店舗で電子薬歴導入済み

● 目的

保険薬局の現状・現場の不安

- カルテを見る事ができない
- 限られた投薬時間
- 薬剤師の知識や経験の違い
- コミュニケーション技術の格差

患者情報の収集や指導内容に差が生じる

ツールの必要性

現場の不安を解消し、HR薬服用患者に対して、よりきめ細かい、薬学的管理を積極的に行うためには？

- 必要項目の確認に手間・時間がかからない
- どの薬剤師でも一定レベル以上の服薬指導ができる
- 短時間で薬歴記載が可能となる

平成22年4月からの特定薬剤管理指導加算の開始をうけ、ガイドラインに沿った服薬指導と薬歴記載を行うためのツールを作成する為、**ハイリスク薬ワーキンググループ**を立ち上げ

「ハイリスク薬 note」を作成したので、その流れと実際のツールを紹介する

②ワーキンググループの活動



平成22年

3月初旬

平成22年度4月の調剤報酬改定で、特定薬剤管理指導加算（以下HR薬加算）が新設されることになり、独自でツールを開発する必要性が出てきた為、**ハイリスク薬ワーキンググループ**（以下HR薬WG）を立ち上げた

3月中旬

第1回ミーティング

- 作成するツールの構成を検討し、6名のメンバーで各薬効群を分担して作成する事とした
- HR薬加算を算定する目安を検討

- ・ガイドラインに示されている確認項目を対象薬剤について指導した場合に算定
- ・処方薬にHR薬が複数ある場合、2剤(もしくは分類)以内の場合は指導を行い極力算定

3月30日

作成したツールを「**ハイリスク薬note**」と命名して各店舗に配布した

4月1日

「ハイリスク薬note」活用開始

7月中旬

「ハイリスク薬note」について全薬剤師にアンケートを実施

第2回ミーティング

クリオネ薬剤師研修会(対象:全薬剤師)にてアンケート結果を発表

8月初旬

アンケート結果を基に「ハイリスク薬note」のVer.UPをメールにて検討開始

9月中旬

第3回ミーティング

「ハイリスク薬note」 Ver.UPに向けて作業継続中

↓

③ 「ハイリスク薬note」の紹介(1)



① TOP画面より分類を選択

Click

ハイリスク薬note

- 抗悪性腫瘍剤
- 抗不整脈薬
- 抗てんかん剤
- 血液凝固阻害剤
- ジギタリス製剤
- アオフィリン製剤
- 精神神経用薬
- 糖尿病薬
- 降糖ホルモン剤
- 免疫抑制剤

Excel

② 分類画面より薬効群を選択

Click

抗悪性腫瘍剤

アルキル化剤	エンドキサン	アルケラン	テモダール	マプリン散	
葉酸拮抗薬	メトレキサート				
ピリミジン拮抗薬	5-FU	フルツロン	ゼローダ	UFT TS-1	スタンド
プリン拮抗薬	ロイケリン散				
代謝拮抗薬その他	ユーゼル	ハイドレア	ロイコボリン	(注1)	
アロマターゼ阻害薬	アリミテックス	アロマソン	フェマラ		
抗エストロゲン薬	ルルバテックス	タスオミン	フェアストーン		
抗アンドロゲン薬	カゾテックス	ピカルタミド	オダイン	プロスターール25mg(注2)	
サイトカイン(IFN)	スマフェロン				
プロゲステロン	ヒスロンH200mg(注3)	プロゲストン	(注3)		
エストラジオール	エストラサイト ピアセチル				
トポイソメラーゼII阻害薬	ベブシド				
分子標的治療薬	グリベック	イレッサ	ネクサパール	スーテント	タンクナ
	タイケルブ	スプリセル	ベサノイド	タルセバ	
非特異的免疫賦活薬	クレシチン ベスタチン				

(注1) ロイコボリン6mgは適応ない為除外
 (注2) プロスターール150mgは適応ない為除外
 (注3) ヒスロン200mg・プロゲストン25mgは適応ない為除外

HR薬に該当する主な薬品を商品名で一覧表示
 店舗の採用薬は色づけ表示

チェック・服薬指導・薬歴に使えるツール

- ① ハイパーリンクにて各ボタンよりジャンプ
- ② 薬効群共通の項目・各薬剤ごとの項目を分けて表示
- ③ 処方時期に合わせて初回・処方変更時や毎回確認事項などに分けてチェック項目を表示

③ 薬効群画面(製剤別)

	A	B	C	D	E	F	G	H
296	抗エストロゲン薬							
297	初回・処方変更時確認							
298	患者に対する処方内容(用法・用量・投与期間・休薬期間等)の確認							
299	用法・用量・投与期間について確認							
300								
301	他剤との相互作用等の確認							
302	併用薬との相互作用問題ないことを確認							
303								
304	副作用の防止および早期発見とその対策							
305	頻度の比較的高い副作用につて説明							
306	副作用について不安はないことを確認							
307	生理不順・吐気・視力低下・血栓・肝機能・WBC低下等説明							
308								
309	一般用医薬品やサプリメントを含め、併用薬や相互作用発現の確認							
310	OTC・サプリメントは服用していないことを確認							
311	ルルバテックス・タスオミン							
312	ワーファリン ⇒ ワーファリンの作用増強							
313	SSRI・リファンピシム ⇒ 本剤作用減弱							
314								
315	フェアストーン							
316	併用禁忌 クラス1A(シペナール・ピメナール・リスモタン等)							
317	クラスⅢ(アンカロン・ソタコール)							
318								
319								
320	化学療法に対する不安への対応							
321	化学療法に対しての不安はないか確認							

⑤ 「ハイリスク薬note」について薬剤師に行ったアンケート内容



● 実際に行ったアンケート内容の紹介

● 時期 7月中旬

● 対象 全薬剤師 73名

☆ハイリスク薬note～薬剤師アンケート～☆

店舗名 _____ 薬剤師経験年数 _____ 年

- レセコン パナシア ・パナシア以外
- 薬歴 紙薬歴 ・電子薬歴(CURE 、CURE以外)

● 応需している処方せんの診療科目

内科 外科 整形外科 耳鼻科 眼科 歯科 皮膚科
脳神経外科 泌尿器科 産婦人科 小児科 心臓血管外科
その他()

- 店舗での、ハイリスク薬の純算定率は、どのくらいだと思いますか？
_____ %くらい

- ハイリスク薬加算について、店舗独自で決めているルールや、工夫している点は？

- ハイリスク薬加算が算定しやすいと思う薬剤は？(複数回答可)

- ハイリスク薬加算が算定しにくいと思う薬剤は？(複数回答可)

- 「ハイリスク薬note」は、使用していますか？

毎回使ってる 時々使ってる あまり使っていない 全く使っていない

- 「ハイリスク薬note」は、どの時点で、使用することが多いですか？

投薬前 服薬指導時 投薬後 薬歴記載時 その他

- 「ハイリスク薬note」の使用で、今までより改善されている点は？

(複数回答可)

- ・指導・確認する項目のモレが防げる
- ・DOの患者さんでも、項目の中から聞くことを見つけられる(マンネリの打開)
- ・薬剤師から「的確な投げかけ」をすることができ、患者さんから必要な情報を聞き出せるようになった
- ・薬歴が充実してきている(具体的な記載、つながった薬歴)
- ・指導内容の統一化で、指導する薬剤師によって言うことが違うなどの患者の不安解消
- ・その他()

- ハイリスク薬の加算の際に、困っていることはありますか？

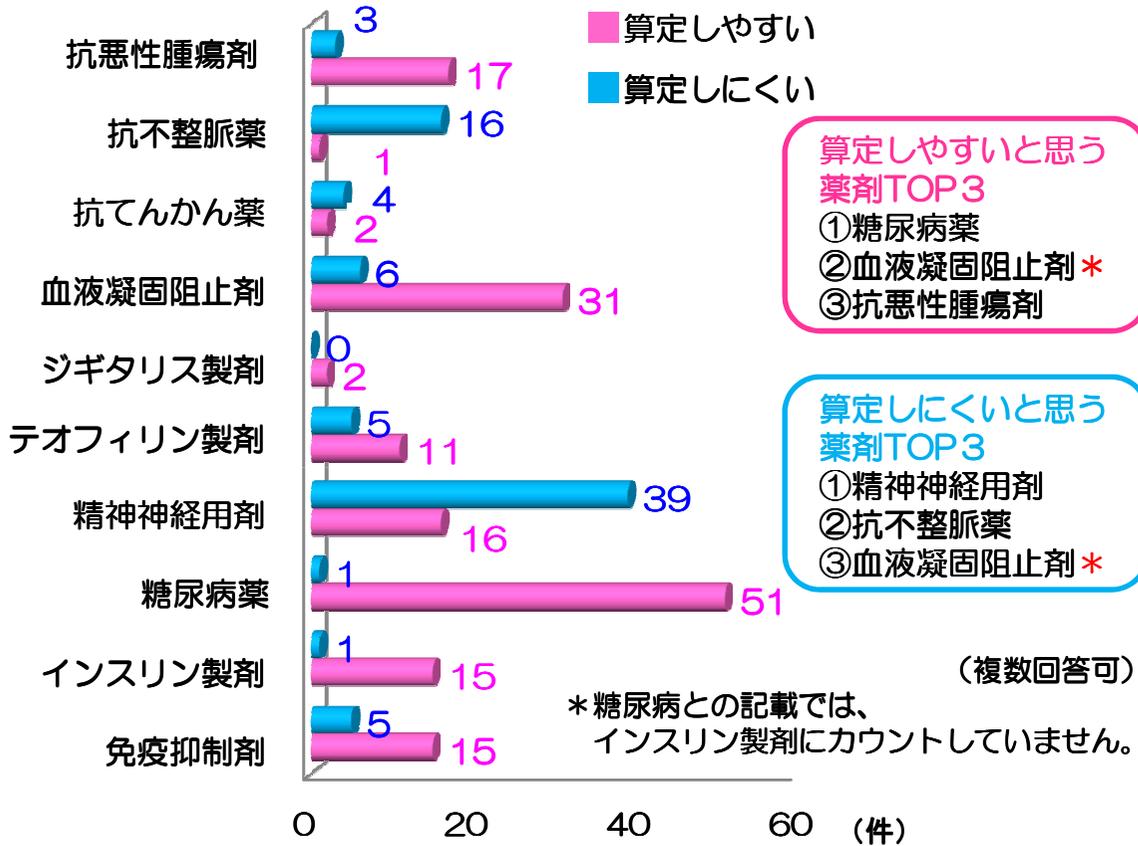
(複数回答可)

- ・ハイリスク薬を数種類併用の患者さんの加算
- ・いろいろな使い方をする薬剤の加算はどうしたらいいか？
- ・その他(些細な事でもいいので、ご記入下さい！)
- 「ハイリスク薬note」の使いにくい点や、改善を希望する点は？
- ・繁用薬剤(バイアスピリンなど)の項目を、もっと増やして欲しい
- ・その他()

⑥ハイリスク薬加算が算定しやすい薬剤・しにくい薬剤

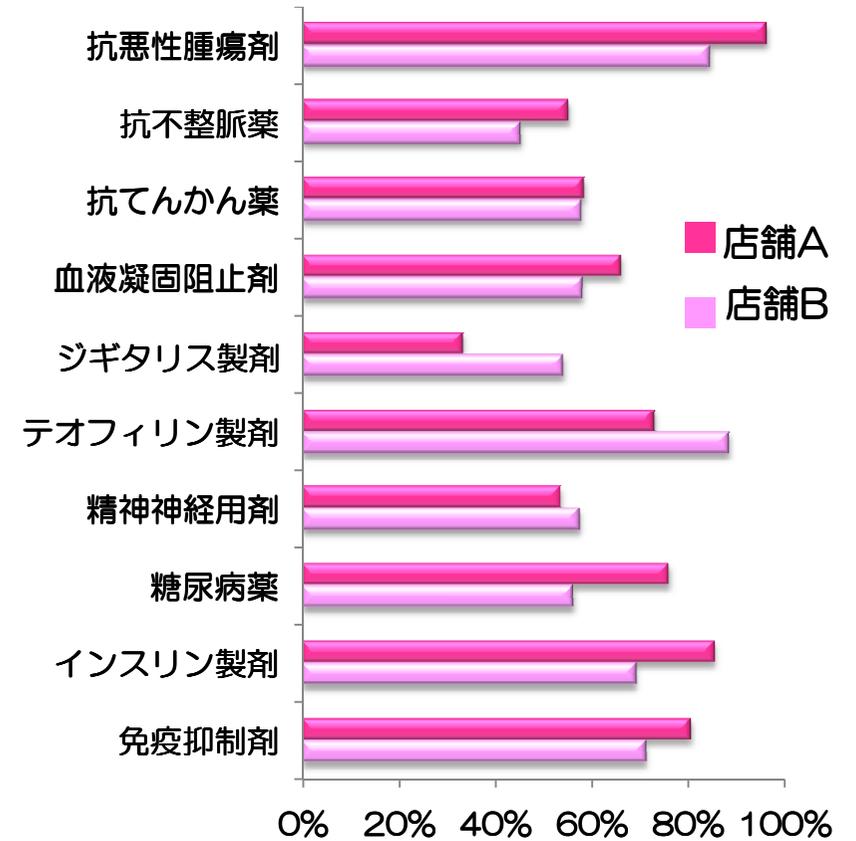


アンケート結果



薬効別 純算定率 (%)

HR薬加算算定(件数) ÷ HR薬処方数(件数)



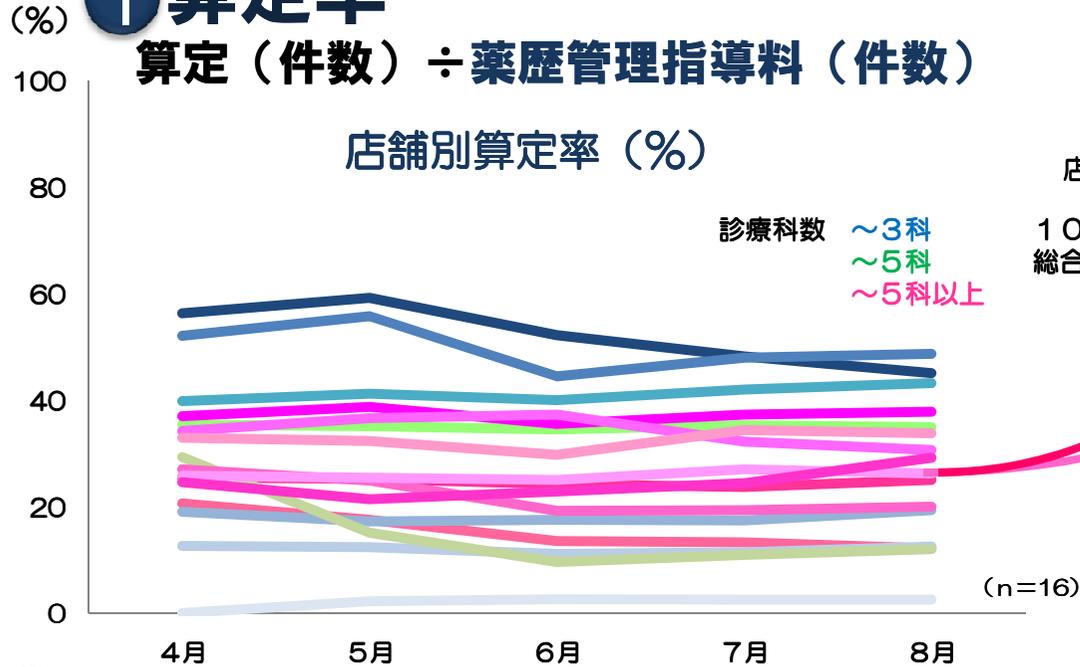
- アンケート結果と実際の純算定率は、抗悪性腫瘍剤、血液凝固阻止剤、糖尿病薬では、同様の結果であった
- 算定しにくいと感じていなかったジギタリス製剤の算定率は低く、循環器疾患では、HR薬が多数併用されているため、算定しにくくなっている
- 血液凝固阻止剤は、単剤での処方も多く算定しやすいが、確認項目がネタ切れになりやすく、回数を重ねるにつれて算定しにくくなっている

⑦ハイリスク薬加算の「純算定率」



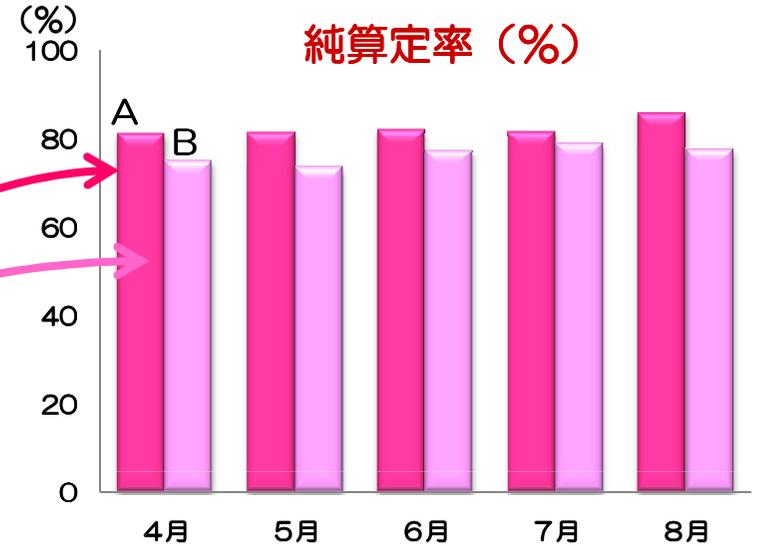
① 算定率

算定（件数） ÷ 薬歴管理指導料（件数）



② 純算定率

算定（件数） ÷ HR薬処方数（件数）



① 診療科が多い店舗の算定率が高くない理由

HR薬の併用数が多く(3剤以上)算定が難しい
 HR薬の処方自体が、あまりない診療科も含まれる

見掛け上
 算定率が低くなる

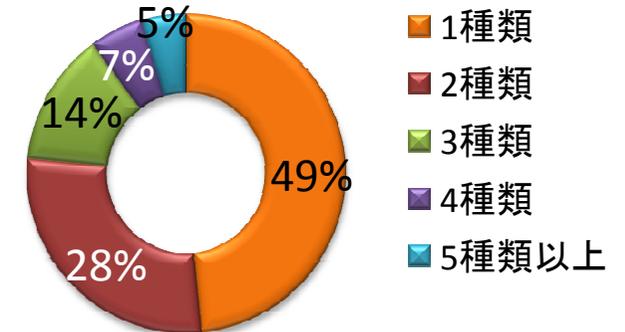
算定率 ⇒ HR薬の処方数に左右される為あくまで目安の1つ

純算定率 ⇒ 処方されたHR薬のうち、どれだけ算定しているか
 薬剤師の努力の結果がわかる

② 診療科が多い店舗でも、純算定率では75%以上は加算できている

③ HR薬同士の併用2剤までの処方割合は、77%で、純算定率の結果からも現在ほぼ算定できていると言える

③ HR薬併用数（処方）



店舗A・B平均（4月～8月） 併用数

1種類 + 2種類 ⇒ 77%

⑧「ハイリスク薬note」の使用状況

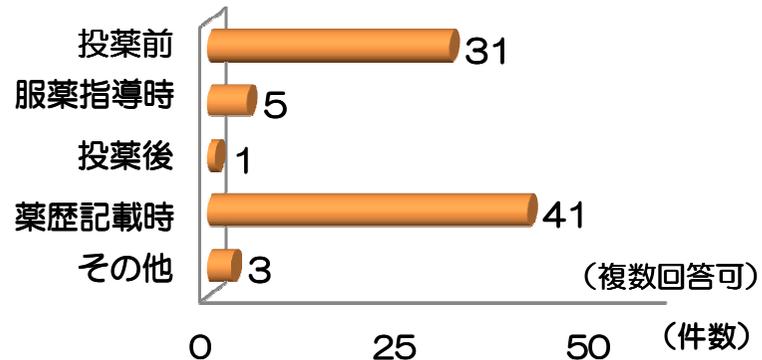


使用状況

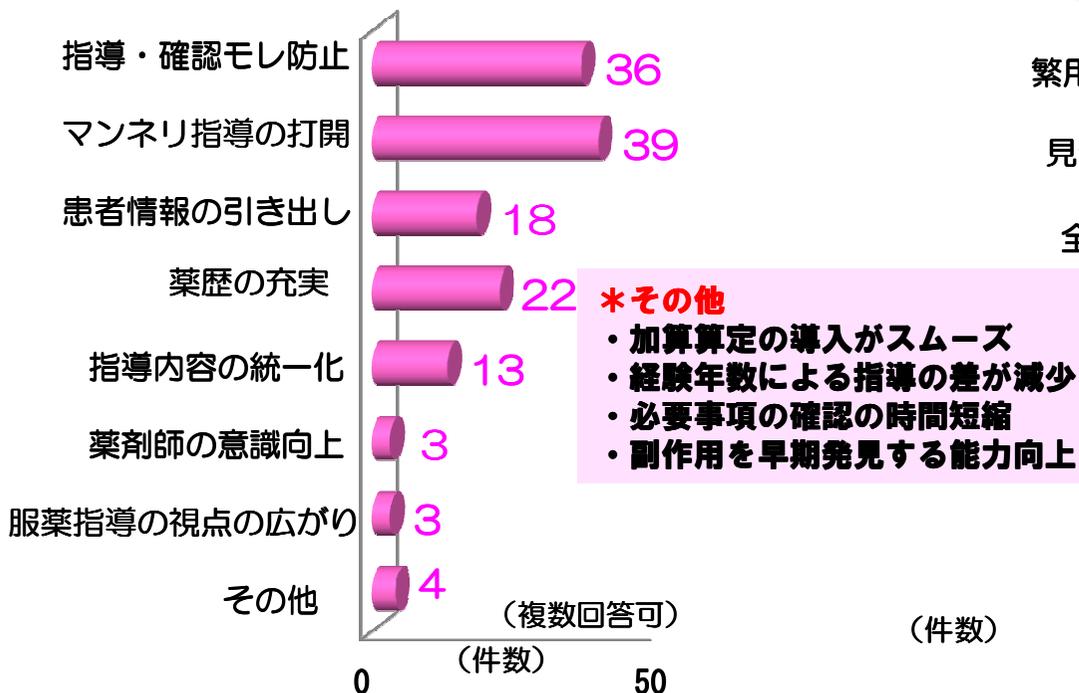
全体	
毎回使っている	22%
時々使っている	44%
あまり使っていない	29%
全く使っていない	5%

全体では**66%**で使用されていたが
診療科数が
4科以内の店舗では45%と低く
4科以上の店舗では73%と高い
使用率で格差がみられた

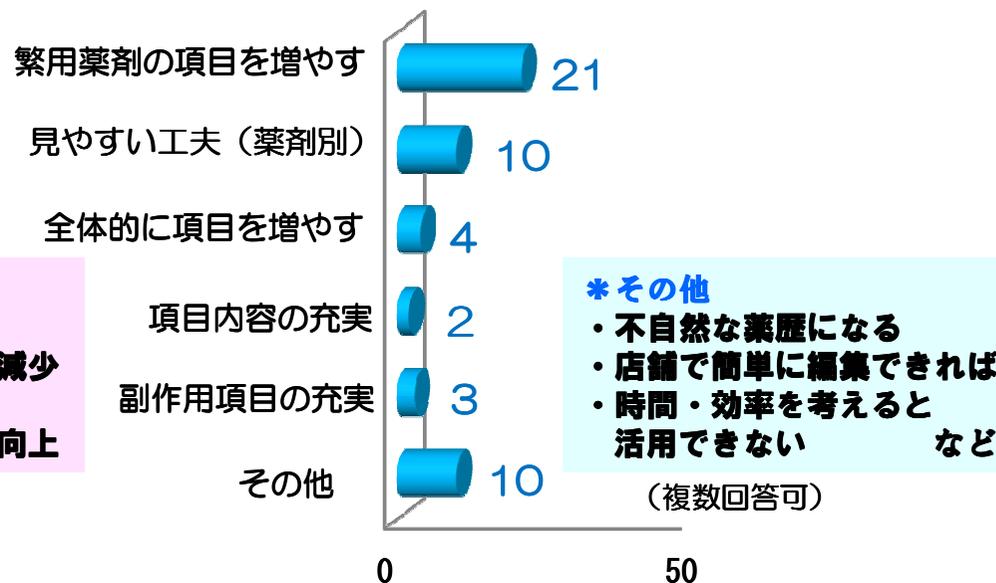
使用時点



「ハイリスク薬note」の利点



「ハイリスク薬note」の改善点



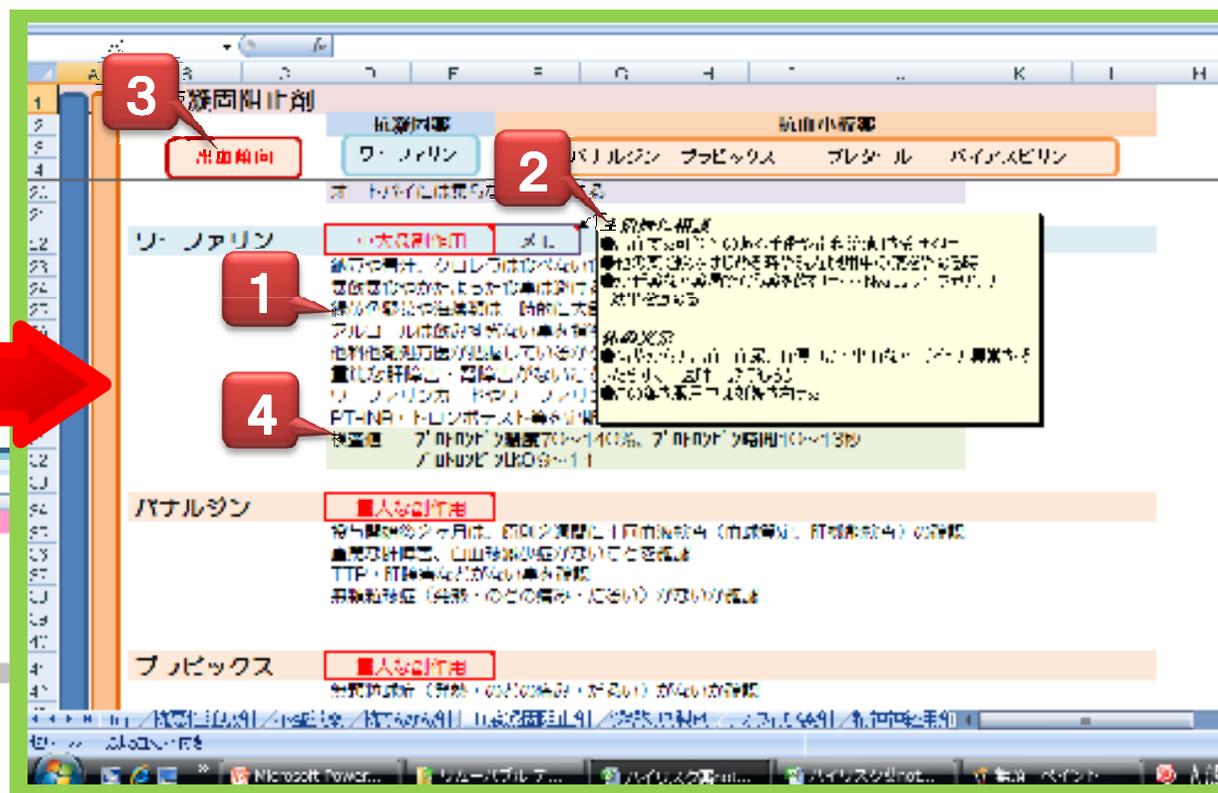
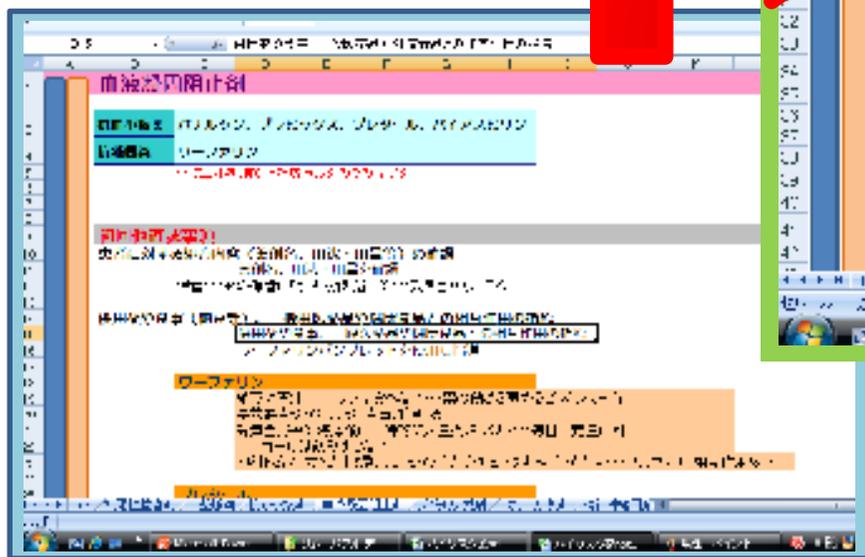
⑨ 「ハイリスク薬note」のバージョンアップ



アンケートであがった使いにくい点・改善を希望する声をVer.Upへ反映

- ① 初期症状を盛り込みそのまま聞ける文章
- ② 重大な副作用・禁忌など注意項目をコメントとして浮き出しに
- ③ 共通項目は表題を付けてまとめた
- ④ 検査値など盛り込んだ

…など



「ハイリスク薬note」は、“Excel”で作成してあり
・新規薬剤やジェネリック医薬品の追加
・項目の追加や編集
が誰でも簡単に行えます

HR薬加算算定時の問題点

- ハイリスク薬を数種類併用している患者の算定
- 薬剤の適応症が多数ある場合
- 算定の基準が明確になっていない
- Do患者に対する確認・指導内容がマンネリ化
- 投薬前の確認準備と服薬指導に時間がかかる
- 今まで以上に詳細な部分についての服薬指導に対する患者の反応
- 副作用の説明の仕方に関する問題
(門前病院のDr.からの苦情など)

考察

- 4/1から全店舗で、HR薬加算を算定できた点では「ハイリスク薬note」は大変有用であった
- 「ハイリスク薬note」は、経験年数に左右されることなく使用されていた
- 特に新人やブランクのある薬剤師での使用頻度は高く、教育ツールとしても活用できる可能性が示唆された
- 電子薬歴では、『具体的な文言を使った定型文』を参照することで短時間での薬歴記載が可能となり、確認・指導項目を次回につなぐことで指導内容がより充実した
- HR薬を多数併用の場合は、よりきめ細かい確認・指導が必要で、これらの患者に対しても十分に対応できるように「ハイリスク薬note」の改良が必要である

今後は

各薬剤師・店舗で門前HPの特性に合った項目を強化

全店舗にフィードバック

「ハイリスク薬note」の進化・服薬指導・薬歴記載の
更なる内容の充実を図っていきたいと考えています

株式会社クリオネ

〒060-0003

北海道札幌市中央区北3条西15丁目1-50

TEL 011-623-0085

FAX 011-623-0220

<http://www.clione-p.jp>

ティーエスワン服用患者のアドヒアランス向上へ向けて
～お薬手帳の応用と推進～

各種医療機関処方箋受付 (株)クリオネ クリオネ南4条薬局

○川口向司	七尾亮子	藤井千春	大坂真樹
糸井寛之	松野太郎	田村葉子	鈴木夏乃
三浦葉子	木村隆夫		

はじめに

ティーエスワンをはじめとする抗悪性腫瘍薬は、有益性の他に相互作用や副作用に意識が向かうイメージが強いが、それ以前に服薬スケジュールが患者個別に設定されている場合もあり、特に外来患者の場合、薬の交付日と服用開始日が同一でないケースが多く見受けられ、医療機関側で説明がなされているにも関わらず、実際の服薬指導時にアドヒアランスに疑問を感じる事態が散見される。

目的

患者のアドヒアランス向上へは、医療機関・薬局・患者側の意識の共有と意思の統一が必要と考え、医療機関側と患者の服薬について相談する時間を設け、外来のティーエスワン服用患者の服薬スケジュールを精査し、共同でお薬手帳へも転用できる服薬カレンダーを作成し、患者参加型のより質の高い服薬指導につなげたいと考えた。また、これを機にティーエスワン使用患者だけでなく一般の患者へも手帳推進の一環として手帳カバー等の工夫を加え啓蒙していきたいと考えた。

方 法

- ①当薬局でティーエスワンを処方されている22名の患者の情報を医療機関側と確認し、患者ごとの直近の服薬スケジュールを調査した
- ②“Microsoft Excel”で患者側の視覚に訴えるようカレンダー形式の服用スケジュール表を作成した
- ③運用面の効率化からスケジュール表はお薬手帳用のラベルプリンターからも出力できるようにした
- ④お薬手帳の表紙へはコメントを作成し、カバーを添付しながらあらためて手帳啓蒙の時間を設けた

これまでの医療機関側の患者説明用資料

再発予防薬の飲み方について



様 (カルテ No _____)

年 月 日 (朝・夕) より開始

月 日 (朝・夕) ~ 月 日 (朝・夕) まで **28日間連続服用**

月 日 (朝・夕) ~ 月 日 (朝・夕) まで **14日間休薬**

月 日 (朝・夕) ~ 月 日 (朝・夕) まで **28日間連続服用**

月 日 (朝・夕) ~ 月 日 (朝・夕) まで **14日間休薬**

月 日 (朝・夕) ~ 月 日 (朝・夕) まで **28日間連続服用**

以上の間隔を守り、先生から中止の指示があるまでくり返し服用して頂きます。自己判断で中断したり、量を減らしたりしないようにして下さい。
お腹が痛かったり、下痢が続く薬を飲むのが辛い時は、医師又は看護師に相談して下さい。



愛育病院 外科外来
Tel 011-644-2211 内線 282

TS-1カレンダー（医療機関・患者用）

ID : 570164

平成22年9月1日作成

クリオネ 一郎 様

TS-1(25mg) 4Cap 2×朝・夕食後

クリオネ 一郎 様
2010(平成22)/10

クリオネ 一郎 様
2011(平成23)/1

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

クリオネ 一郎 様
2010(平成22)/11

クリオネ 一郎 様
2011(平成23)/2

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28					

クリオネ 一郎 様
2010(平成22)/12

クリオネ 一郎 様
2011(平成23)/3

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

患者用お薬手帳

年月日	処方内容	摘要	保険薬局名 保険薬剤師氏名
	<p>クリオネ 一郎</p> <p>小児愛育協会附属 愛育病院</p> <p>調剤日 22.10.11 処方日 22.10.11</p> <p>外科/●比●●先生</p> <p>1 ペルジピンL Aカプセル40mg 1 cap ⇒ グレープフルーツジュースにより作用が強くなる場合があります。</p> <p>分1 朝食後 14 日分</p> <p>2 アローゼン顆粒 1 g 分1 就寝前 14 日分</p> <p>③ ティーエスワン配合カプセルT 25 4 cap 25mg (テガフル相当量)</p> <p>分2 朝夕食後 14 日分</p> <p>4 ダオニール錠1.25mg 2 錠 ⇒ 血糖が下がると空腹感、脱力感が現れる場合があります。</p> <p>分2 朝夕食後 14 日分</p> <p>5 オメプラゾン錠20mg 1 錠 分1 朝食後 14 日分</p> <p>クリオネ南4条薬局 札幌市中央区南4条西25丁目2番20号 コート南円山1階 Tel 011-552-0770</p>		
	<p>○ ティーエスワンは1/15 ~ 1/28分です。</p>		

7

年月日	処方内容	摘要	保険薬局名 保険薬剤師氏名																																																	
	<p>クリオネ 一郎 様</p> <p>2010(平成22)/10</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>日</th> <th>月</th> <th>火</th> <th>水</th> <th>木</th> <th>金</th> <th>土</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>7</td> <td>8</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>11</td> <td>12</td> <td>13</td> <td>14</td> <td>15</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>17</td> <td>18</td> <td>19</td> <td>20</td> <td>21</td> <td>22</td> <td>23</td> </tr> <tr> <td>24</td> <td>25</td> <td>26</td> <td>27</td> <td>28</td> <td>29</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>31</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			日	月	火	水	木	金	土						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31						
日	月	火	水	木	金	土																																														
					1	2																																														
3	4	5	6	7	8	9																																														
10	11	12	13	14	15	16																																														
17	18	19	20	21	22	23																																														
24	25	26	27	28	29	30																																														
31																																																				

8

TS-1カレンダー（薬局用）

ID : 570164

平成22年9月1日作成

クリオネ 一郎 様

TS-1 (25mg) 4Cap 2×朝・夕食後

クリオネ 一郎 様
2010(平成22)/10

クリオネ 一郎 様
2011(平成23)/1

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

薬局側で今回処方分に
ラインをひく

クリオネ 一郎 様
2010(平成22)/11

クリオネ 一郎 様
2011(平成23)/2

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28					

クリオネ 一郎 様
2010(平成22)/12

クリオネ 一郎 様
2011(平成23)/3

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

効果 ①

- 患者の申し出た服用期間と医療機関側で把握している服用期間で若干の誤差がありそれを修正できた
- 医療機関側とティーエスワンの服用スケジュールの情報を共有することにより、入院した場合には退院時に病院薬剤部より変更後のスケジュールなど患者情報を提供されることで、患者が安心してスムーズに外来へ移行できた

病院薬局からの情報提供用紙

TS-1 服用患者様 連絡用紙

様 (S / /) 退院予定日 6月30日

退院時処方 TS-1 ²⁰25mg 4 Cap 分2 朝夕食後 7日分

30日分服用してない

【直近クールのスケジュール】

6月22日(朝・夕) ~ 7月20日(朝・夕)まで28日間連続服用 (1日欠けあり)

7月21日(朝・夕) ~ 月 日(朝・夕)まで14日間休薬

TS-1 服用患者様 連絡用紙

様 (S / /) 退院予定日 6月9日

退院時処方 TS-1 25mg 4 Cap 分2 朝夕食後 28日分

【直近クールのスケジュール】

6月11日(朝・夕) ~ 7月8日(朝・夕)まで28日間連続服用

7月9日(朝・夕) ~ 7月22日(朝・夕)まで14日間休薬

効果 ②

- ・ 患者自身が今まで以上にスケジュールを把握し飲み忘れ、飲み間違いが減少しアドヒアランスが向上した
- ・ 薬局側は今まで以上に、能動的に疑義照会や服薬指導ができるようになった

手帳推進用写真

①



お薬手帳をお忘れの患者様へ

お手数ですが、裏面のシールを
お手持ちのお薬手帳へ貼ってください。

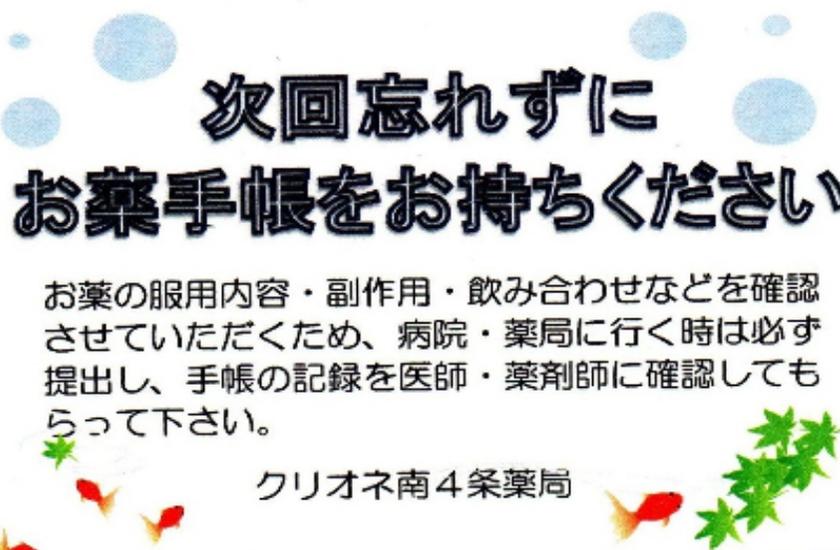
**次回、忘れずにお薬手帳を
お持ちください。**

お薬手帳の記録をもとに
お薬の服用内容、副作用、飲み合わせ
などを確認させていただくため
病院・薬局に行く時には必ず提出し
手帳の記録を医師・薬剤師に
確認してもらって下さい。



クリオネ南4条薬局
〒064-0804
札幌市中央区南4条西25丁目2番20号
TEL 011-552-0770
FAX 011-552-0787

②



**次回忘れずに
お薬手帳をお持ちください**

お薬の服用内容・副作用・飲み合わせなどを確認
させていただくため、病院・薬局に行く時は必ず
提出し、手帳の記録を医師・薬剤師に確認して
もらって下さい。

クリオネ南4条薬局

①は初回使用

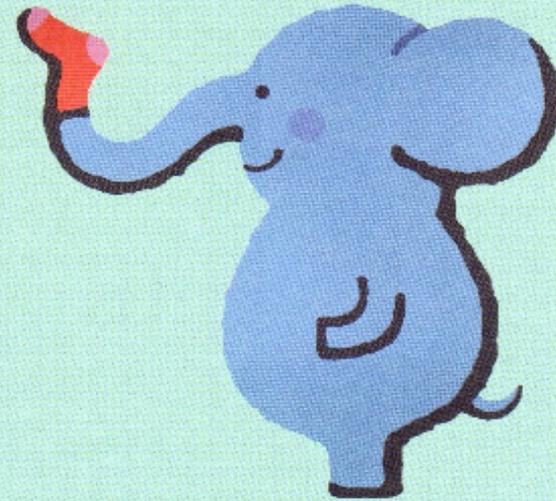
②は2回目に使用

コメント

手帳の表紙



処方箋と一緒にお願いします



おくすり手帳

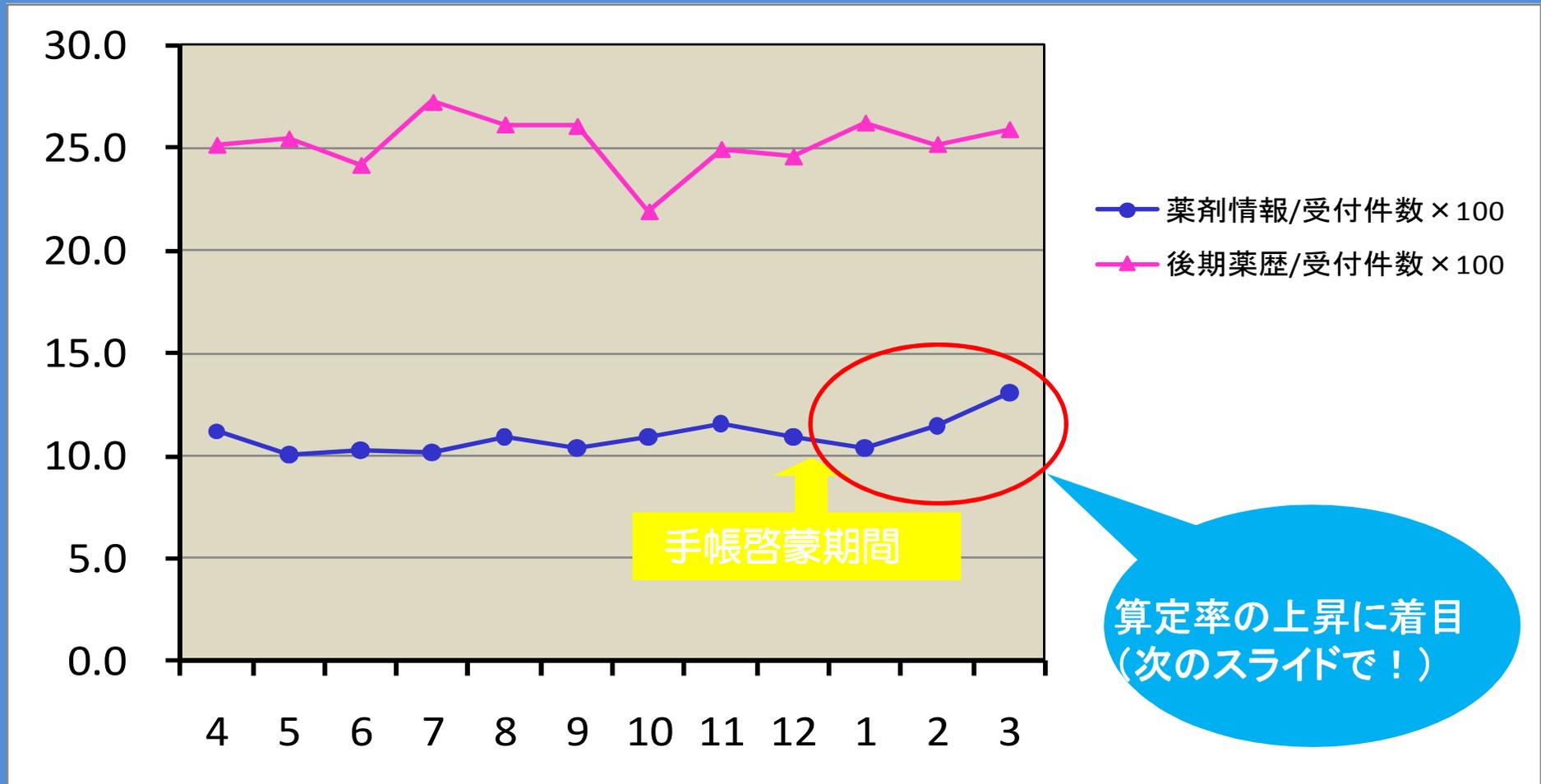
年 月 日 ~ 年 月 日

おなまえ

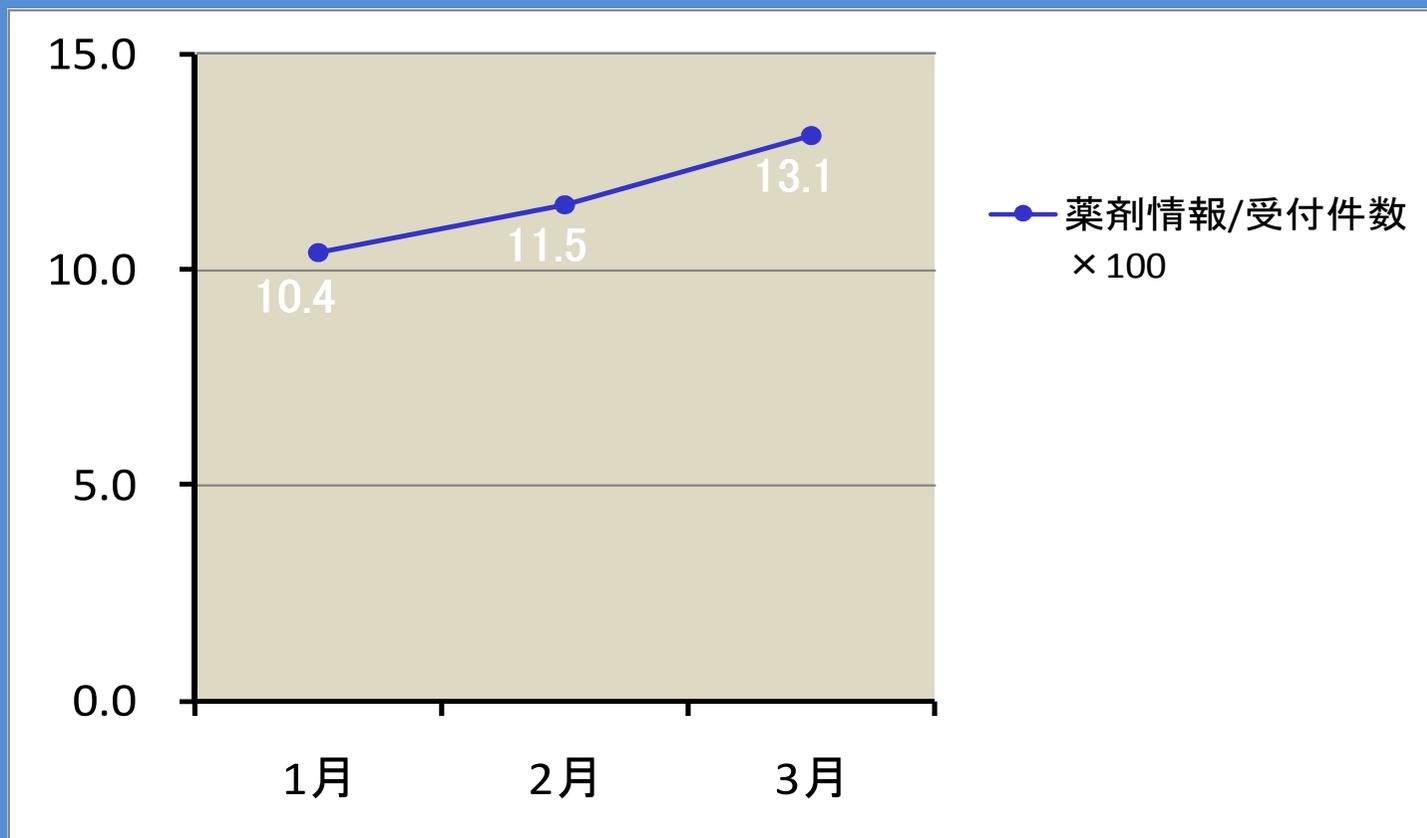
No.

さま

平成21年度お薬手帳関係算定率



平成21年度1月～3月の算定率

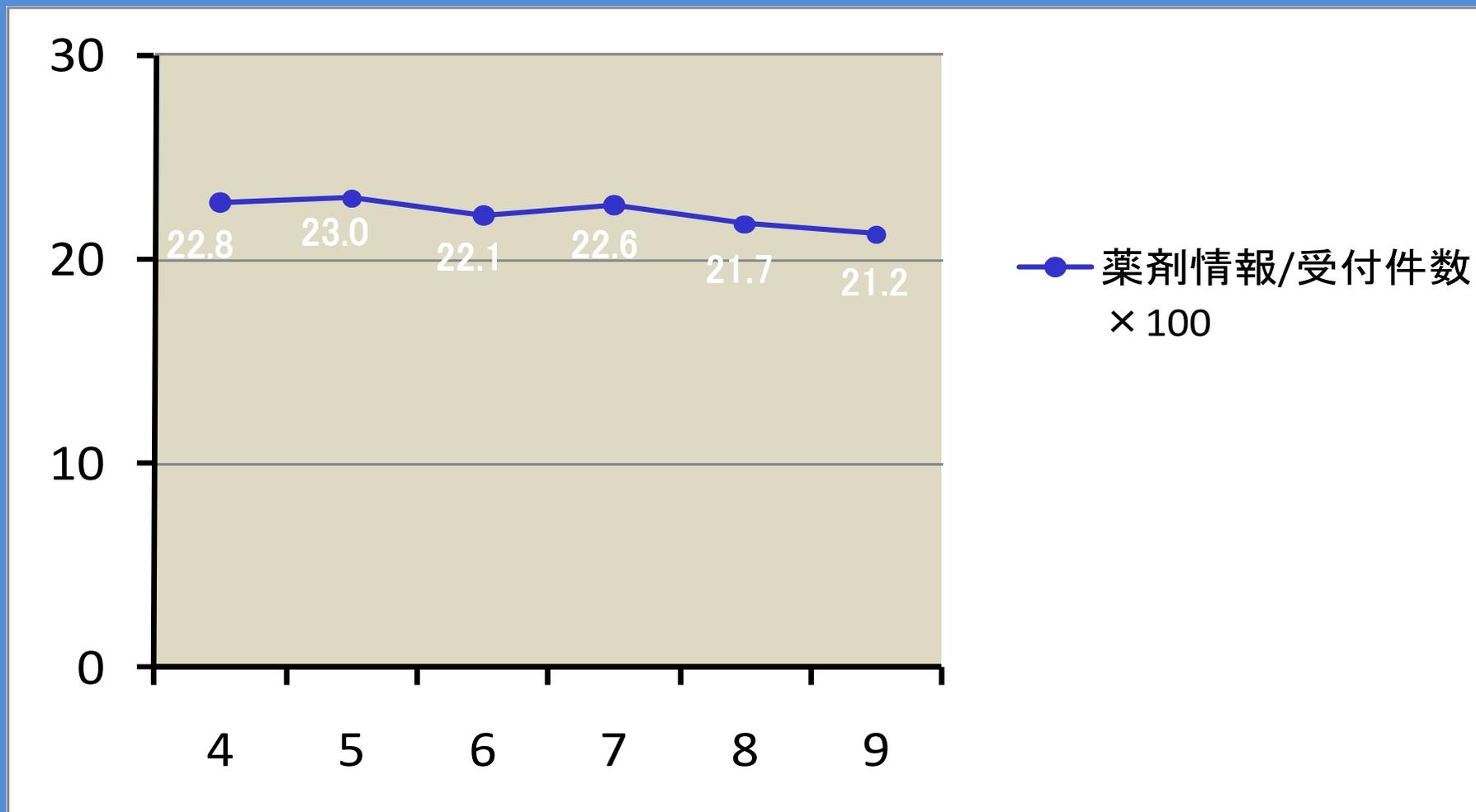


	1月	2月	3月
受付件数	2058	1898	2207
薬剤情報	214	218	289
後期薬歴	540	478	572
薬剤情報/受付件数 × 100	10.4	11.5	13.1
後期薬歴/受付件数 × 100	26.2	25.2	25.9

過去4月～12月の
月平均は10.7%

平均2.7%の上昇

平成22年度お薬手帳関係算定率



* 算定率は21.2%~23.0%の間での変動で平均は22.2%

効果 ③

- 平成21年12月途中から行った手帳への工夫の結果、平成21年度1月～3月の改正前のデータで薬剤情報提供料の算定率が3ヶ月で2.7%上昇した
- 平成22年度からは調剤報酬の改定（後期高齢者薬剤服用歴管理料廃止）のため前年度からの継続では数値を追うことはできなかった

考 察

- がん化学療法分野は多剤併用や新薬の開発など情報の更新が早い。現場では誤った服用があると患者側への不利益が大きく薬局としても責任を感じる。今後はリスクマネジメントの視点からも患者参加型によるアドヒアランス向上を試行錯誤していく必要性があると感じる
- 今回作成したツールは休薬期間のある他薬へも応用できるものと考える
- お薬手帳は国民の目に見える薬剤師業務の有力なアイテムである。今後はただ単に推進するのではなく、薬局側は今まで以上に患者個別に有益性を高めるよう付加価値を探求すべきと思われる